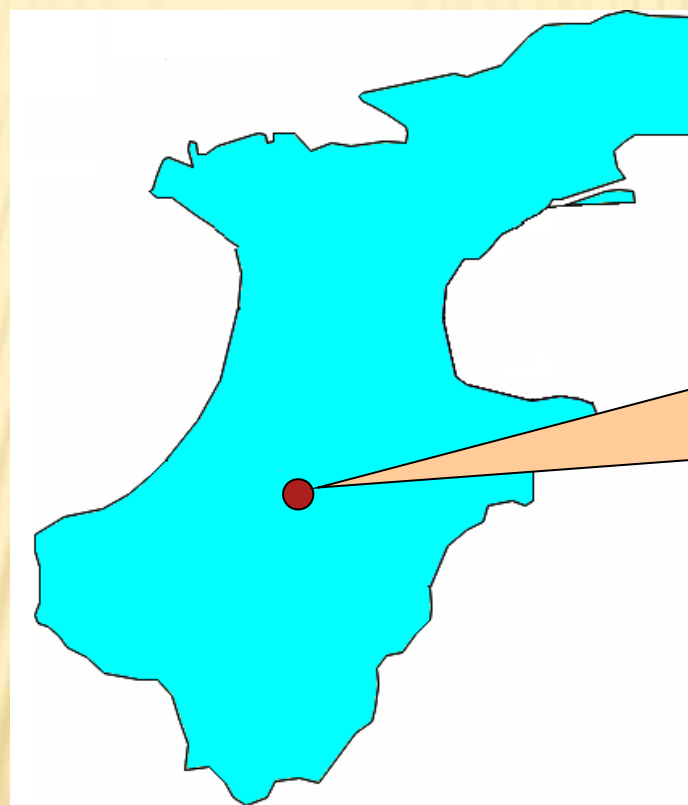


災害時における 自主防災組織の活動について

乙立地区災害対策本部

乙立地区の位置



おっ たち
乙 立

乙立地区の概要

面積: 18.55km²

人口: 731人(平成18年)
(平成26年10月1日現在 681人)

世帯数: 230世帯(平成18年)
(平成26年10月1日現在 218世帯)

地勢: 中国山地に囲まれた山間の
地域で中央を1級河川の
神戸川が南北に流れている

名所: 県立自然公園立久恵峡



県立自然公園立久恵峡

出雲地方の過去の災害（台風：豪雨）

【種別】発生年月日	被害状況
【暴風雨（台風）】 昭和18年9月20日	総雨量 300mm超(9月18日～9月20日)／最大風速 25.7m(浜田市)／概要 主に石見地方で被災(明治以降、最大規模)。／出雲市被害 死者4名、全壊34戸、半壊59戸、床上浸水226戸、耕地流出14町歩(旧出雲市)。斐伊川＝上津、阿宮、出西、川跡、鳶巣の堤防決壊により、家屋の流出・倒壊・浸水、耕地の埋没・流出多数。平田町にて浸水。神戸川＝馬木、古志、西園の堤防決壊により、家屋の流出・浸水、耕地の埋没多数。土砂災害＝鳶巣、高浜にて土石流発生。高浜、古志にて山崩れ。
【台風】 昭和19年9月17日	総雨量 154mm／最大風速 40m／概要 石見部を中心に被災。／出雲市被害 全壊19戸、半壊16戸(旧出雲市)。前年に比べて被害は少なかったが、前年の被災箇所が再度被害を受ける。西園にて、流出3戸、浸水290戸、耕地浸水417町歩、耕地埋没4町歩。
【台風】 昭和20年9月17日	総雨量 337mm(掛合、9月15日～9月18日)／最大風速 28.8m(松江市)／概要 枕崎台風／出雲市被害 死者1名、流出5戸、倒壊11戸、浸水580戸。斐伊川＝上津、阿宮、出西にて決壊。平田町にて、穴道湖の水位上昇による浸水被害多数。土砂災害＝西林木町(伊努谷川)の被害は大きく、流出5戸、耕地埋没多数等。
【豪雨】 昭和36年7月4日	総雨量 223mm(出雲、7月3日～7月4日)／概要 梅雨前線豪雨／出雲市被害 死者8名、全壊29戸、半壊47戸、床上浸水511戸。中小河川＝増水・氾濫、堤防・道路の決壊、山崩れ等の被害続出。稗原をはじめとする山沿い地域の被害甚大。
【豪雨】 昭和39年7月18日	総雨量 250mm超(出雲、7月18日～7月19日)／概要 山陰・北陸豪雨。7月8日から15日も連日雨が降り、その間の出雲の合計雨量は272mm。／出雲市被害 死者・不明者79名、全壊272戸、半壊224戸、床上浸水2,932戸、床下浸水8,893戸。中小河川の堤防決壊や氾濫が各地で発生。土砂災害＝出雲市の南部、斐川町の南部等を中心に各所で発生し、多くの人とその犠牲となった。
【豪雨】 昭和47年7月9日	総雨量 524mm(出雲、7月9日～7月14日)／概要 昭和47年7月豪雨。明治26(1893)年以来80年ぶりといわれる穴道湖の氾濫により、周辺市町村で床上浸水が多数発生するなど、甚大な被害をもたらした。／出雲市被害 全壊9戸、半壊23戸、床上浸水2,063戸、床下浸水2,652戸。穴道湖沿岸の平田・斐川地域で広範囲にわたり浸水。東園、古志、塩冶、船津、上島、阿宮でも浸水被害が発生。斐伊川、神戸川いずれも堤防決壊寸前となった。
【台風】 平成3年9月27日	最大瞬間風速 56.5m(松江、観測史上最大)／概要 台風19号。島根半島直近の日本海を通過。／出雲市被害 全壊1戸、半壊46戸、停電は市内全地区、不通電話807件。強風のため看板、トタン、屋根瓦が飛び、樹木や電柱に大きな被害。
【豪雨】 平成9年7月7日	総雨量 305mm(出雲、7月7日～7月12日)／概要 梅雨前線豪雨／出雲市被害 全壊1戸、半壊2戸、床上浸水12戸、床下浸水484戸。
【豪雨】 平成18年7月17日 ～7月19日	総雨量 460mm(波多、7月16日～7月19日)／概要 平成18年7月豪雨。県内各地の日降水量、1時間降水量の観測値が、統計開始以来7月の第一位を記録。／出雲市被害 死者3名、半壊2戸、床上浸水133戸、床下浸水70戸他。神戸川＝所原の堤防決壊により、浸水家屋115戸、浸水面積105.9ha。乙立で、浸水家屋42戸、浸水面積26.9ha。

平常時の神戸川と水位計



水位計の上流



水位計の下流

平成18年豪雨災害の被害状況（出雲市全域）

○人的被害 死者 3名

○住家被害 床上浸水 135戸

 床下浸水 65戸



（平田灘分地区冠水状況）斐伊川



（上空から見た所原町）

公共被害（平成18年の出雲市全域）

・道路	240件
・河川	61件
・橋梁	7件
・公園	7件
・文教施設	4件
・市営住宅	1件
・その他公共施設	6件
・農業用施設等	506件
・林道・林地等	94件
・農地	388ha
・商業用施設	26件



（破壊され流失した市道朝山54号線）

避難の状況（平成18年の出雲市全域）

地域	地区	開設避難所数	避難者数 (最大時)
出雲	朝山	6	167
	乙立	5	155
	上津	1	15
平田		6	1,362
佐田		6	134
合計		24	1,833



〔避難所の状況（平田高校）〕

乙立地区の被害状況 1

1 . 家屋・施設等被害

床上浸水 42戸

床下浸水 10戸

非住家 15戸

2 . 橋 梁

流失1、 損壊3

3 . 農業施設等

用排水路

田・畑の流出

流木、土砂の堆積

4 . 避難の状況

51世帯、155名



(乙立地区の浸水の状況)

乙立地区の被害状況 2



(浸水した乙立浄水場とその周辺)

乙立地区の被害状況 3



(立久恵峡浮嵐橋)



(ワイヤーが切れて傾いた立久恵峡・酔さん橋)

乙立地区の被害状況 4



(浸水した乙立小学校校庭)

災害対応の状況 1

7月18日 19:00 乙立地区災害対策本部設置
20:30 出雲市消防団乙立分団
警戒巡視開始(河川その他)

神川(乙立橋)水位観測

6:40	-40
7:50	110
8:00	130
8:30	170
<hr/>	
18日	
21:15	200M

7月17日 集中豪雨の後の状況

① 出雲南部(特に佐田)集中的に増水
今日増水

② 出雲県庁(佐田) (搭載車 3~4名乗)

1. 坂根	1. 今国丸	1. 伊藤
2. 安岐	2. 若倉	2. 小村
3. 小村春	3. 菅田	3. 菅田
4. 小村司	4. 菅田	
5. 今国幸	5. 岡山	
6. 今国隆	6. 今国丸	
7. 長徳	7. 内山	
8. 今国春	8. 別所	
9. 日野		
10. 今国尚		
11. 平笠		

災害対応の状況 2

23:00 ◎第一次避難

神戸川沿線(田代、森原、立久恵、殿川内地区)
の住民に自主避難の呼びかけ〔消防乙立分団〕

23:15 出雲市が神戸川流域住民に避難勧告発令

0:25 ◎第二次拡大避難〔対策本部〕森原



Handwritten notes in red ink on a piece of paper. The notes describe evacuation orders and road closures.

一次避難発令 23:00
119名 (0.38区)

二次拡大避難発令 0:25
36名 (1.3区)

乙立橋 通行止 } 3:25
184号 通行止 }

災害対応の状況 3

○乙立地区災害対策本部の活動

1. 避難勧奨 ①有線放送による全体広報、情報伝達
 ②電話による個別連絡
 ③消防団と消防署による戸別訪問
2. 避難支援 ①消防団による要支援者の避難誘導
 ②避難路の安全確保
3. 一時避難所開設(乙立橋通行止め)

市の指定避難所以外に一時避難所4箇所開設

(集会所、個人住宅)

平常時の乙立橋付近



7月18日深夜の対策本部



7月19日未明の乙立橋付近

災害対応の状況 4

- 7月19日 AM0:38 第一次避難完了(119名)
- 1:30 第二次避難完了(36名)
- 3:00 ダムの放流
- 1時間後 1m以上水位上昇
- 4:20 最高数位 5.5~6メートル
- 6:00 第1回二次体制災害対策会議
- 【この間 随時開催】
- 7月26日 第19回乙立地区災害対策会議
- 8月11日 乙立地区災害対策本部解散

災害対策本部の活動



災害対応の状況 5

○対策会議の役割 各町内の状況把握と市からの情報伝達

1. 被害状況の把握

被害状況の把握



災害対応の状況 5

○対策会議の役割 各町内の状況把握と市からの情報伝達

1. 被害状況の把握
2. 断水対策(復旧情報、給水車運行の周知)
3. 仮設トイレ設置要望
4. 災害ごみの集積場所決定

災害ゴミの収集

